



# あかまつ

七飯町立七重小学校  
学校だより No.9  
R 4年1月31日

妥協しないこと、徹底すること、継続すること～具体的な目標をもって

七飯町立七重小学校長 本多宏至

「おはようございます。今年もよろしくお祈りします。」

始業式の朝、やる気スイッチをONにして、玄関で元気に挨拶をしてくれた子どもがいました。1時間目には「家族で〇〇温泉に行き、・・・。」と、冬休みの思い出を振り返りながらにぎわう教室。子どもたちの笑顔とともに3学期の学校が始まりました。1月は新年のスタートですが、3学期は、学校としてはまとめの学期であり、次の学年へつなぐ学期でもあります。得意なことや頑張ってきたことはさらに継続し、苦手なことは少しでも克服することを目標に、1年のまとめをしっかりと行い、上級学年へつなげる3学期であってほしいと思っています。特に6年生は小学校生活のすべてが終了します。卒業までの限られた一日一日を大切に過ごしてほしいと思っています。そして4月には、どの子どもも胸を張って中学校の門をくぐってくれることを心から願っています。



さて、成長を実感する3学期にするために、子どもたちには、ぜひ具体的な目標を立ててほしいと思っています。「理想は高く、しかし実践目標は小刻みに」という言葉もあります。大きな高い目標を掲げることは大切なことであると考えます。しかし、一度にこの目標を達成することは、難しいとも思います。その目標を達成していくためには、日々の生活の中で克服できる、実行すべきことを目標としてもつことが大切ではないかと考えます。大きな目標に向けて今日は何をするのか、何を実行して成し遂げるのかを自分の行動目標としてしっかりもってほしいと思っています。そして、その小さな毎日の一つ一つの行動が積み重なって、知らず知らずのうちに大きな目標の達成に近づいていくものだと考えています。

「妥協しないこと・徹底すること・継続すること」

これは、元ディズニーリゾート運営部長 安孫子薫氏が講演でお話しした言葉です。講演の演題は「ディズニーの現場マネジメント～すべてはゲストのハピネスのために～」でした。ディズニーランドのスタッフは9割がアルバイトですが、すべてのスタッフがゲストのハピネスのために、妥協せず、役割の徹底を継続しています。そこはまさに夢の国であり、ゲストのリピーター率はなんと98%という、驚異的な数字を示しています。

後期の学校評価によると、七重小学校の約9割の児童は「学校が楽しい」と答えています。前期よりも増えていますし、この数字はうれしい数字です。ただ、3.6%（17人）の児童が「そう思わない」と答えています。学校は、誰一人取り残すわけにはいきません。すべての児童に「毎日学校が楽しい。」と思ってもらいたい、これは全職員の願いです。子どもたちが、大きな目標に向けて日々の具体的な目標を成し遂げることで、自分の成長を楽しめるよう、職員がワンチームになってサポートしていきます。

気持ちを新たにスタートした3学期もすでに2週間が過ぎました。明日からはもう2月です。慌ただしく過ぎ去っていく感はありませんが、このようなときこそ、地に足をつけて取り組む姿勢が、教育活動を進めてく学校にはこの時期望まれます。6年生から届いたカウントダウンカレンダーを見ると、卒業式まで50日を切っています。七重小学校全職員で、3月の卒業・修了というゴールを目指して、子どもたちの限られた日々をしっかりと活動できるよう指導してまいります。本年も何卒よろしくお祈りいたします。